

令和2年度 第1回理事会 議事録

- [1] 理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年6月12日
- [2] 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 理事 田中俊郎
- [3] 理事総数 9名、監事総数 2名
- [4] 議案
 - (1) 評議員の推薦
 - (2) 令和元年度事業報告
 - (3) 令和元年度収支及び財産の状況

[5] 審議経過及び審議結果

令和2年6月12日、理事田中俊郎が理事及び監事の全員に対して、理事会の目的である議案について、上記内容の提案書を発し、当該提案について令和2年6月19日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、監事の全員から異議がない旨の意思表示を得たので、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

尚、令和元年度「公益目的実施報告書」について、監事より「適正」との監査報告書を得ていることを報告した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、理事全員及び監事全員が次に記名押印する。

令和2年6月12日

議事録作成者 理事 寺澤忠興

令和2年6月12日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 理事会

代表理事 田中俊郎 (印)

理事 加藤隆 (印)

理事 寺澤忠興 (印)

理事 安藤直樹 (印)

理事 岡野美幸 (印)

理事 秋山小南 (印)

理事 奥村直生 (印)

理事 山下しのぶ (印)

理事 佐藤栄作 (印)

監事 宮山尚之 (印)

監事 島崎主税 (印)

令和2年度 第1回理事会

令和2年6月12日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第 1 号議案 評議員の推薦

1. 規定

- ・定款第 11 条 4 によれば、評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することが出来ることとなっており、今回は理事会より評議員選定委員会に対し新評議員を推薦する。
- ・また定款第 12 条 2 によれば、任期は退任した評議員の任期の満了する時までとなっている。

2. 新評議員の推薦

- ・新任候補者、及び退任者は下記の通り。

氏名		出身	任期
富重 文孝	新任	新宿高校教諭	令和 5 年度定時評議員会まで
谷口 靖	〃	〃	〃
小峰 和則	退任	〃	—
佐藤由紀夫	〃	〃	—

尚、新任候補者はその就任を承諾している。

3. 評議員選定委員会の開催

- ・令和 2 年 6 月 15 日(月)に評議員選定委員会を開催し、上記新評議員候補者の審査を行う。

第2号議案 令和元年度事業報告

1. 一般財団法人朝陽会の現況に関する事項

1.1 館山寮臨海教室

臨海教室は、これまでの3泊4日4期を一日短縮して、7月27日から2泊3日で4期に渡って行われました。今年は天候に恵まれ、事故もなく無事に終了することが出来ました。教職員、PTAの皆様、朝陽水泳会OBOG、館山地元の方々のご努力、ご協力の賜物と感謝申し上げます。一般開放も無事に終了し、8月下旬に閉寮することが出来ました。臨海教室の安全装備の充実のための消耗品、備品の購入、小型船舶資格取得援助、給食の提供も従来通り行いました

1.2 館山寮の台風被害

閉寮後まもなく、関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で9月9日に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害を出した、「令和元年度房総半島台風」は、館山市にも大きな被害をもたらし、館山寮は男子用施設が南からの暴風雨を真面に受け、建物屋根がすべて吹き飛ぶという激甚災害に見舞われました。

1.3 館山寮男子宿泊棟の再建に向けた活動

朝陽同窓会事務局は、朝陽水泳会と共にすぐさま被害状況の把握のために現地に赴いて調査と後片付けを行いました。その結果を教職員、同窓会代表幹事に説明し、財団法人朝陽会内に館山寮「再建委員会」を設置して、再建に向けての活動を開始しました。

しかしながら、再建に必要な資金の確保、また臨海教室開催までに工期が間に合うかなどの問題に直面し、令和2年度夏までの再建は断念いたしました。

令和2年度は比較的被害の軽かった男子用風呂、トイレ、管理人室の改修工事ならびに男子棟の解体・撤去を第一期工事として行うことにしました。再建委員会の委員でもある原田将史氏（S48回）に設計・管理を委託し、施工は相見積もりの結果石井工務店に発注し、7月末までに竣工予定です。（解体撤去費約560万円、改修費約1100万円）

朝陽同窓会では、再建費用確保のために、全同窓生および旧教職員に館山寮再建募金を呼びかけ、PTAも独自に募金を呼び掛けていただきました。（総額約2,200万円）

さらに、損害保険会社から、保険金（約8600万円）が支払われました。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 館山寮臨海教室

令和2年度の臨海教室は、宿舎の問題と新型コロナウイルスの影響で中止となりました。合わせて一般への寮開放も中止します。

当初、「再建委員会」では、第一期工事を実施するとともに、宿舎として「香地区集会所」とトレーラーハウスの借り上げなどを提案しましたが、これまでのような環境での安全が確保できないとの判断があったところに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う長期の休校、「密」の危険性が予想される集団活動の中止、夏休みの大幅短縮によって、令和2年度の臨海教室は中止となりました。

2.2 館山寮男子宿泊棟の再建

令和2年度は、第一期工事を7月末までに終わるとともに、昨年度水漏れし修理不能となっていた受水槽の交換（約400万円）と、新たに判明した管理人室のシロアリ駆除対策を行います。

さらに、第二期工事として男子宿泊棟の再建に取り組みます。第一期工事を担当した原田設計士が制作した設計案、ハウスメーカー（積水ハウス、住友林業等）のパッケージ商品、システム建築案、石井工務店による施工案などを比較検討し、どの案を最終的に採用するかについて、朝陽同窓会の了解を取り付け財団法人朝陽会理事会・評議員会での決定を得たいと考えています。

なお、再建費用（第一期工事と第二期工事）は、再建募金と保険金内でまかなうことを前提にいたします。

以上

第3号議案 令和元年度収支及び財産の状況

1. 収支－予算実績対比

1) 一般正味財産の部－経常収益

- ・ 賛助会員は、265名、納入率は83%になった。
- ・ 寮使用料収入は、臨海教室一泊減の影響を過少計上。

単位：万円

項目	実績	予算	増減
賛助会員受取会費	398	399	－1
寮使用料収入	739	669	70
寄付金、雑収入	20	20	0
合計	1,157	1,088	69

2) 一般正味財産の部－経常費用

- ・ 減価償却費は、男子宿泊棟が倒壊し資産が消滅したため減少した。
- ・ 募金趣意書発行費は、昨年末に全同窓生に館山寮再建のための募金を依頼するために、趣意書を発行した。

減価償却費	－492	－639	147
光水熱費、燃料費	－79	－98	19
消耗品費、備品費	－41	－76	35
修繕費	－12	－50	38
委託費	－771	－792	21
募金趣意書発行費	－167	－	－167
その他費用	－220	－249	29
合計	－1,782	－1,904	122
当期経常増減額	－625	－816	191

3) 一般正味財産の部－営業外増減

保険金収入（火災保険）	8,659	－	8,659
災害損失（男子棟損壊）	－386	－	－386

4) 指定正味財産の部

館山寮再建募金（PTA）	181	－	181
--------------	-----	---	-----

注）PTAからの募金は直接朝陽会の口座に振り込まれたものです。

同窓生等からの再建募金約2,000万円は朝陽同窓会の口座に振り込まれているので、現在は朝陽同窓会の預り資産となっています。

5) 収支差額（法人税等7万円控除後）

当期収支差額	7,822	－823	8,645
---------------	--------------	-------------	--------------

2. 財産－前年対比貸借対照表

1) 流動資産

単位：万円

項目	当年度	前年度	増減
現金預金、その他	603	662	-59

2) 固定資産

(1) 基本財産

- ・建物、建物付属は、男子棟損壊による減少。
- ・建設仮勘定は、第一期工事の設計・監理費。

項目	当年度	前年度	増減
土地(館山、水上)	5,643	5,643	0
建物、建物付属	2,681	3,459	-778
機械設備、器具備品	143	195	-52
建設仮勘定	110	0	110
合計	8,577	9,297	-720

(2) 特定資産

- ・保険金収入と再建募金の合計額を引き当てて、使用時に取り崩す。

館山寮再建等引当資産	8,840	0	8,840
------------	-------	---	-------

3) 資産合計

資産合計	18,020	9,959	8,061
-------------	---------------	--------------	--------------

4) 負債

- ・75 回生賛助金会員受取会費 269 名 (84%)
- ・未払金は、同窓生からの館山寮再建募金が朝陽会口座に振り込まれた金額を、同窓会で一元管理するため一旦振り替えるもの。

項目	当年度	前年度	増減
前受金	404	393	11
未払金	228	0	228

5) 繰越金

繰越金	9,566	10,272	-706
当期損益	7,822	-706	8,528

4) 負債・繰越金合計

負債・繰越金合計	18,020	9,959	8,061
-----------------	---------------	--------------	--------------

以上